

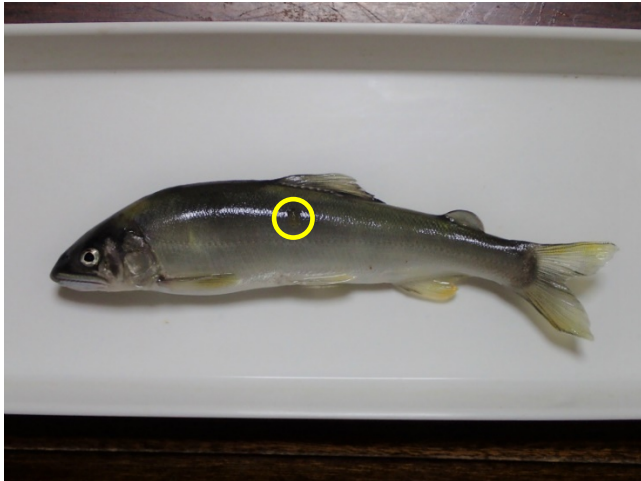
アユの体表の寄生したチョウモドキ

技術士(衛生工学部門、生物工学部門)

本 堀 雷 太

先日、矢作川で釣ったアユの体表に「チョウモドキ(*Argulus coregoni*)」という寄生虫の仲間が付着していました。

チョウモドキは甲殻類の仲間で、淡水魚類の体表に寄生(外部寄生)し、鋭利な口器で血液を吸いながら生活します。また、宿主を離れて自由に遊泳する事も可能で、水を満たしたシャーレの中に入れると元気に泳いでいました。



アユの体表に付着していたチョウモドキ



アユの体表に付着していたチョウモドキ(拡大)



アユの体表に付着していたチョウモドキ(側面から)



水を満たしたシャーレ内を泳ぐチョウモドキ

